

(記入上の注意点)

調理業務従事証明書

従事者(受験者)氏名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

上記の者は、下記のとおり調理の業務に従事したことを証明します。

勤務施設名		勤務施設所在地		電話番号	
施設の種類	種類(該当のところに○印をつけること。)	許可番号及び 許可・開設年月日		調理業務の内容	
	(飲食店関係営業) 1 飲食店営業 2 魚介類販売業 3 そうざい製造業	(許可年月日) 年 月 日 (許可保健所名) 第 号		(なるべく具体的に に記載すること。)	
	(給食施設)(1日 回 食) 1 寄宿舍 2 学校 3 病院 4 その他 (事業所、社会福祉施設、老人保健施設) きょう正施設、自衛隊、給食センター等)	(開設年月日) 年 月 日			
上記の施設で調理の 業務に従事した期間		年 月 日から	年 月 日まで	計 年 月	
雇用形態		1 正社員(職員) 2 パート・アルバイト 3 その他()			
勤務形態		週 日、1日 時間勤務(雇用形態が正社員(職員)の場合は記入を要しない。)			
廃業年月日		年 月 日			
証明日は記入されていますか? 年 月 日					
証明者住所 _____					
証明者電話番号 _____					
証明者地位 _____					
証明者氏名 _____ ㊞					

実際に行っていることを具体的に書いてください。
(例) てんぷらを揚げる、煮物の調理等
(調理品の運搬、配膳や食器洗浄等は直接調理しないので不可。)

実務経験が、2年以上ありますか？
従事施設が2箇所以上の場合は、加算し2年以上ありますか？(それぞれの従事証明書が必要です。)

正社員・パート・アルバイト以外は、雇用形態を具体的に記入してください。

雇用形態が、パート・アルバイト・その他に該当するとき記入してありますか？
週4日以上かつ1日実働6時間以上又は週5日以上かつ1日実働5時間以上勤務していますか？

従事施設が廃業している場合に記入してください。

- 1 従事施設が営業許可を受けている場合
 - ・個人が許可・・・個人の印鑑と印鑑証明を添付
 - ・法人が許可・・・法人代表者の印(社判と職印が別々にあればそれぞれ押印)
- 2 許可を要しない給食施設の場合
 - ・当該施設の長の印(職印)

(例) 地区食品衛生協会、料理飲食業生活衛生同業組合等

注 (1) 原則として、当該施設長が証明すること。ただし従業者と施設長が同一人、配偶者又は二親等内の血族の場合若しくは廃業等によって元の施設長がいない場合は、調理師会等所属団体の長又は同業者が証明すること。
(2) 証明印は、当該施設の施設長の職印を用いること。個人が証明する場合は、印鑑届のしてある印を用い印鑑証明を添付すること。
(3) 給食施設の開設年月日とは、寄宿舍、学校、病院等の施設であって継続して1回20食以上又は1日50食以上を調理して供与する施設として開始した年月日をいうものであること。

【証明者の印について】

	証 明 者			証明者の印	添付書類	印例示	
営業許可 施設	許可 取得 者	法人	法人の代表者		代表者の印 (登録印)	/	
		個人	個人		印鑑登録して ある個人印		印鑑証明 *6ヵ月以内 のもの
集団給食 施設	施設 長	法人	施設長	施設長 印があ る場合	施設長の印	/	
				施設長 印がな い場合	印鑑登録して ある施設長の 個人印		印鑑証明 *6ヵ月以内 のもの
集団給食 施設 *給食部 門を飲食 店業者に 委託して いる場 合	許可 取得 者	法人	法人の代表者		代表者の印 (登録印)	/	
		個人	個人		印鑑登録して ある個人印		印鑑証明 *6ヵ月以内 のもの